

全部床義歯補綴学（Ⅰ）

責任者・コーディネーター		歯科補綴学講座（有床義歯・口腔リハビリテーション学分野） 小林 琢也 教授		
担当講座（分野）		歯科補綴学講座（有床義歯・口腔リハビリテーション学分野）		
対象学年	第3学年	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	講義/演習	実習
期間	後期		前期	—
			後期	10.0時間 18.0時間

学修方針（講義概要等）

歯科補綴学とは、歯・口腔・顎・その関連組織の先天性欠如、後天的欠損、喪失や異常を人工装置を用いて修復し、喪失した形態または障害された機能を回復するとともに、継発疾病の予防を図るために必要な理論と技術を考究する学問である。

全部床義歯補綴学では、片顎または上下両顎のすべての歯を喪失した症例に対し、全部床義歯によって修復・整形し、損なわれた口腔と関連組織の形態と機能および外観を回復させるとともに、患者の健康の維持・増進を図るために必要な方法に関して、理論と技術を修得することを目的に学修する。

教育成果（アウトカム）

全部床義歯補綴学の講義及び実習では、無歯顎患者の喪失あるいは低下した形態と機能を回復・向上させ、健全な社会生活を送るため、無歯顎患者補綴治療の基礎理論を学修し、全部床義歯の基本構造や支持・維持・安定の原則を学修する。また、無歯顎患者の診察、診断、適切な治療計画の立案、義歯の設計理論と製作工程、装着後の調整に至るまでの知識と技術を修得する。

（関連するディプロマポリシー：1, 4, 6）

到達目標（SBOs）

1. 無歯顎に伴う障害の種類と病態を理解している。D-5-3-2-1
2. 全部床義歯の目的、意義及び適応症を理解している。D-5-3-2-2
3. 全部床義歯の要素構成と設計原則（支持、維持、安定、咬合平衡を含む）を理解している。D-5-3-2-3
4. 全部床義歯製作のための印象採得を理解している。D-5-3-2-4
5. 全部床義歯製作のための咬合採得を理解している。D-5-3-2-5

事前事後学修の具体的内容及び時間

【事前学修】

シラバスに記載されている次の講義と実習内容を確認し、教科書と実習書を用いて調べ、事前学修として疑問点を整理しておくこと。各講義に対する事前学修の時間は平均30分を要する。

【事後学修】

講義後にポストテストを実施する。ポストテストで理解が不十分であった箇所については、講義資料や教科書等を用いて事後学修を行うこと。各講義に対する事後学修の時間は平均45分を要する。

（事前学修：平均30分を要する 事後学修：平均45分を要する）

講義/演習日程表

区分	月日 (曜)	時限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
講義	9/24 (木)	3	小林琢也教授 (歯科補綴学講座 有 床義歯・口腔リハビ リテーション学分野)	全部床義歯補綴学① (診察・検査・診断) 全部床義歯補綴の診察 法を理解する。 講義・ディスカッショ ン	1. 無歯顎に伴う障害の種類と病態 を理解している。 2. 全部床義歯の目的、意義及び適 応症を理解している。 3. 全部床義歯の要素構成と設計原 則(支持、維持、安定、咬合平衡を 含む)を理解している。 4. 全部床義歯製作のための印象採 得を理解している。 a) 無歯顎の病態を説明できる。 b) 概形印象採得と研究用模型につ いて説明できる。 c) 個人トレーの製作について説明 できる。 d) 印象材の種類と適応を説明でき る。 [D-5-3-2、D-5-3-2-1, 2, 3] 事前学修：無歯顎の病因と病態及び 治療法について教科書を用いて調 べ、疑問点を整理しておくこと。所 要時間30分程度。 事後学修：ポストテストで理解が不 十分であった箇所について、講義資 料や教科書を用いて知識を整理して おくこと。所要時間45分程度。
講義	10/1 (木)	3	小林琢也教授 佐藤宏明講師 (歯科補綴学講座 有 床義歯・口腔リハビ リテーション学分野)	全部床義歯補綴学② (上顎精密印象採得) 全部床義歯製作に必要な 上顎の口腔の解剖と 精密印象採得を理解す る。 講義・ディスカッショ ン	3. 全部床義歯の要素構成と設計原 則(支持、維持、安定、咬合平衡を 含む)を理解している。 4. 全部床義歯製作のための印象採 得を理解している。 a) 上顎無歯顎の解剖学的ランド マークと圧負担域を説明できる。 b) 上顎の筋圧形成に関わる筋を説 明できる。 c) 筋圧形成の意義を説明できる。 d) 精密印象採得の目的と方法を説 明できる。 [D-5-3-2、D-5-3-2-3, 4] 事前学修：上顎の印象採得法につ いて教科書を用いて調べ、疑問点を整 理しておくこと。所要時間30分程 度。 事後学修：ポストテストで理解が不 十分であった箇所について、講義資 料や教科書を用いて知識を整理して おくこと。所要時間45分程度。

講義	10/8 (木)	3	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>全部床義歯補綴学③ (下顎精密印象採得)</p> <p>全部床義歯製作に必要な下顎の口腔の解剖と精密印象採得を理解する。 講義・ディスカッション</p>	<p>3. 全部床義歯の要素構成と設計原則(支持、維持、安定、咬合平衡を含む)を理解している。</p> <p>4. 全部床義歯製作のための印象採得を理解している。</p> <p>a) 下顎無歯顎の解剖学的ランドマークと圧負担域を説明できる。</p> <p>b) 下顎の筋圧形成に関わる筋を説明できる。</p> <p>c) 筋圧形成の意義を説明できる。</p> <p>d) 精密印象採得の目的と方法を説明できる。</p> <p>e) 全部床義歯の作業用模型製作の目的と方法を説明できる。</p> <p>[D-5-3-2、D-5-3-2-3, 4]</p> <p>事前学修：下顎の印象採得法について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。</p> <p>事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>
講義	10/8 (木)	4	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>全部床義歯補綴学④ (垂直的顎間関係の記録)</p> <p>無歯顎患者の垂直的顎間関係の記録法を理解する。 講義・ディスカッション</p>	<p>1. 無歯顎に伴う障害の種類と病態を理解している。</p> <p>2. 全部床義歯の目的、意義及び適応症を理解している。</p> <p>5. 全部床義歯製作のための咬合採得を理解している。</p> <p>a) 咬合床の機能と仮想咬合平面の決定方法を説明できる。</p> <p>b) 咬合高径の形態的、機能的な決定方法を説明できる。</p> <p>[D-5-3-2、D-5-3-2-5]</p> <p>事前学修：垂直的顎間関係について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。</p> <p>事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>

講義	11/26 (木)	3	<p>小林琢也教授 米澤悠助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p> <p>全部床義歯補綴学⑤ (水平的顎間関係の記録)</p> <p>無歯顎患者の水平的顎間関係の記録法を理解する。 講義・ディスカッション</p>	<p>1. 無歯顎に伴う障害の種類と病態を理解している。</p> <p>2. 全部床義歯の目的、意義及び適応症を理解している。</p> <p>5. 全部床義歯製作のための咬合採得を理解している。</p> <p>a) 水平的顎間関係の特に器具を必要としない方法、特殊な器具を使用する方法を説明できる。</p> <p>b) ゴシックアーチ描記法を説明できる。</p> <p>c) 咬合床に記入する標示線を説明できる。</p> <p>[D-5-3-2、D-5-3-2-5]</p> <p>事前学修：水平的顎間関係について教科書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。</p> <p>事後学修：ポストテストで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>
----	--------------	---	---	--

実習日程表

実習	10/15 (木)	3 4	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一朗助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p> <p>全部床義歯補綴学実習 (全部床義歯補綴学 I 実習概論、咬合床の製作①②)</p> <p>歯の欠損を有する患者の模型を診察・検査し、治療計画と設計について習得する。 全部床義歯の咬合床の基本的形態を理解し、製作法を習得する。</p>	<p>1. 無歯顎に伴う障害の種類と病態を理解している。</p> <p>2. 全部床義歯の目的、意義及び適応症を理解している。</p> <p>3. 全部床義歯の要素構成と設計原則(支持、維持、安定、咬合平衡を含む)を理解している。</p> <p>4. 全部床義歯製作のための印象採得を理解している。</p> <p>5. 全部床義歯製作のための咬合採得を理解している。</p> <p>a) 全部床義歯補綴歯科治療の意義を説明できる。</p> <p>b) 全部床義歯治療の流れを診療室と技工操作に分けて列挙できる。</p> <p>c) 実習に必要な器具、材料の名称と役割を説明できる。</p> <p>d) 咬合床の役割と具備条件を説明できる。</p> <p>e) リリーフとブロックアウトの違いを説明できる。</p> <p>[E-5-3-4、E-5-3-4-2、E-5-3-4-2-1]</p> <p>事前学修：全部床義歯補綴治療法の咬合床の役割について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。</p> <p>事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>
----	--------------	--------	--	---

<p>実習</p>	<p>10/22 (木)</p>	<p>3 4</p>	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>全部床義歯補綴学実習 (咬合床の製作③④)</p> <p>全部床義歯の咬合床の基本的形態を理解し、製作法を習得する。</p>	<p>2. 全部床義歯の目的、意義及び適応症を理解している。 5. 全部床義歯製作のための咬合採得を理解している。 a) 咬合床の役割と具備条件を説明できる。 b) リリーフとブロックアウトの違いを説明できる。 c) 光重合型レジンを用いて、基礎床の圧接ができる。 d) パラフィンワックスを用いて咬合堤の製作・調整ができる。 e) 人工歯の標準的排列位置を説明できる。 [E-5-3-4、E-5-3-4-2、E-5-3-4-2-1] 事前学修：全部床義歯補綴治療法の咬合床の役割について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>
<p>実習</p>	<p>10/29 (木)</p>	<p>3 4</p>	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>全部床義歯補綴学実習 (咬合床の製作⑤⑥)</p> <p>全部床義歯の咬合床の基本的形態を理解し、製作法を習得する。</p>	<p>2. 全部床義歯の目的、意義及び適応症を理解している。 5. 全部床義歯製作のための咬合採得を理解している。 a) 咬合床の役割と具備条件を説明できる。 b) リリーフとブロックアウトの違いを説明できる。 c) 光重合型レジンを用いて、基礎床の圧接ができる。 d) パラフィンワックスを用いて咬合堤の製作・調整ができる。 e) 人工歯の標準的排列位置を説明できる。 f) 上顎前歯部咬合堤前縁の設定位置を説明できる。 g) 仮想咬合平面の設定の際に参考となる要素を説明できる。 [E-5-3-4、E-5-3-4-2、E-5-3-4-2-1] 事前学修：全部床義歯補綴治療法の咬合床の役割について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>

<p>実習</p>	<p>11/12 (木)</p>	<p>3</p>	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>全部床義歯補綴学実習 (咬合床の製作⑦)</p> <p>全部床義歯の咬合床の基本的形態を理解し、製作法を習得する。</p>	<p>2. 全部床義歯の目的、意義及び適応症を理解している。 5. 全部床義歯製作のための咬合採得を理解している。 a) 咬合床の役割と具備条件を説明できる。 b) リリーフとブロックアウトの違いを説明できる。 c) 光重合型レジンを用いて、基礎床の圧接ができる。 d) パラフィンワックスを用いて咬合堤の製作・調整ができる。 e) 人工歯の標準的排列位置を説明できる。 f) 上顎前歯部咬合堤前縁の設定位置を説明できる。 g) 仮想咬合平面の設定の際に参考となる要素を説明できる。 [E-5-3-4、E-5-3-4-2、E-5-3-4-2-1] 事前学修：全部床義歯補綴治療法の咬合床の役割について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>
<p>実習</p>	<p>11/12 (木)</p>	<p>4</p>	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野)</p>	<p>全部床義歯補綴学実習 (顎間関係の記録・咬合器装着①)</p> <p>顎間関係の記録の術式を理解し、顎間関係の記録法を修得する。</p>	<p>5. 全部床義歯製作のための咬合採得を理解している。 a) 咬合床を用いた咬合採得を説明できる。 b) 咬合採得材料の種類や特徴を説明できる。 c) 咬合床に標示線を記入できる。 d) スプリットキャスト法による咬合器装着の意義と手法を説明できる。 [E-5-3-4、E-5-3-4-2、E-5-3-4-2-5、E-5-3-4-2-6] 事前学修：咬合採得の手順について教科書と実習書を用いて調べ、疑問点を整理しておくこと。所要時間30分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解が不十分であった箇所について、講義資料や教科書及び実習書を用いて知識を整理しておくこと。所要時間45分程度。</p>

<p>実習</p>	<p>12/3 (木)</p>	<p>3</p>	<p>小林琢也教授 佐藤宏明講師 米澤悠助教 原総一郎助教 米澤紗織助教 島田崇史助教 伊藤凌助教 (歯科補綴学講座 有 床義歯・口腔リハビ リテーション学分野)</p>	<p>全部床義歯補綴学実習 (顎間関係の記録・咬 合器装着②)</p> <p>顎間関係の記録の術式 を理解し、顎間関係の 記録法を修得する。</p>	<p>5. 全部床義歯製作のための咬合採 得を理解している。 a) 咬合床を用いた咬合採得を説明 できる。 b) 咬合採得材料の種類や特徴を説 明できる。 c) 咬合床に標示線を記入できる。 d) スプリットキャスト法による咬 合器装着の意義と手法を説明でき る。 [E-5-3-4、E-5-3-4-2、E-5-3-4-2- 5、E-5-3-4-2-6] 事前学修：咬合採得の手順について 教科書と実習書を用いて調べ、疑問 点を整理しておくこと。所要時間30 分程度。 事後学修：実習を行ったうえで理解 が不十分であった箇所について、講 義資料や教科書及び実習書を用いて 知識を整理しておくこと。所要時間 45分程度。</p>
-----------	---------------------	----------	---	---	--

教科書・参考書・推薦図書

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	無歯顎補綴治療学 第4版	市川哲雄ほか編	医歯薬出版	2022年
教	コンプリートデンチャーテクニック 第6版	細井紀雄ほか編	医歯薬出版	2011年

成績評価方法・基準・配点割合等

講義・実習の評価方法は、以下の評価方法と割合で行う。

- ・定期試験 70%
- ・平常点（ポストテスト、レポート）10%
- ・実習点（試験、技能・態度）20%

合格は65点以上とする。

実習評価において、全ての実習内容を履修し、ライターの確認、検印を受けることで、実習試験の受験資格を得ることができる。

到達目標	DP	実習試験	小テスト	定期試験	合計
1	1、4	4	2	14	20
2	1、4	4	2	14	20
3	4	4	2	14	20
4	1、4、6	4	2	14	20
5	1、4、6	4	2	14	20
合計		20	10	70	100

特記事項・その他（試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用 等）

【フィードバック】

- ・非常勤講師担当以外の講義では講義後に試験（ポストテスト）を行い、試験に関する解説は、次の講義時にフィードバックする。
- ・提出されたレポートは、採点后、コメントをつけて返却する。

【アクティブラーニング】

講義/演習日程表の「ユニット名 内容」の欄に別途記載済み。

【ICT】

講義前にWebClassに資料を提示するので事前学習に利用すること。

当該科目に関連する実務教員の有無 … 有（大学病院等における医師や歯科医師の実務経験を有する教員が専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う）

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
デスクトップコンピュータ	MDV-AGG9210X	1	基礎実習用機器	授業及び実習配布資料の作成
デスクトップパソコン	Inspiron580S	1	基礎実習用機器	授業及び実習配布資料の作成
ノートパソコン	MC516J/A Education	1	視聴覚用機器	講義・症例プレゼンテーション用
一眼レフカメラ・EOS	KISSX5 LKIT	1	視聴覚用機器	講義・症例プレゼンテーション用
ノートパソコン・VAIO 一式	VPCZ21AJ	1	基礎実習用機器	授業のデモ及び研究データの解析用
内視鏡用ビデオシステム	PSV-4000	1	基礎実習用機器	授業のデモ及び研究データの解析用
バイトアイ 咬合接触面測定器	BE- I	1	臨床実習用機器	咬合接触状態の可視化および観察、分析のため
ノートパソコン一式	PCLZ750TSB(SSS)	1	基礎実習・研究用機器	授業のデモ及び研究データ解析用
ジルコニア焼結用ファーネス一式 (KavoEverestTherm)	4180	1	基礎実習・臨床実習用機器	ジルコニアフレーム（実習用）製作用
標準カラーカメラユニット・一式	VW-300C	1	基礎実習・臨床実習用機器	相互実習時の口腔内写真撮影用
歯科用拡大鏡・サージテルルーペ・オークリレーター	EVK450	1	基礎実習・臨床実習用機器	拡大視野下での形成、技工のため
コピー機・ミニコピア	DPC995	1	基礎実習・研究用機器	授業の配布資料作成
10.2インチiPad Wi-Fiモデル	MK2P3J/A	1	視聴覚用機器	学生講義、研究用